(1) 第105号 昭和25年12月22日日本國有鉄道特別扱承認新聞625号 THE KENMINNOTOMO 昭和27年 (1952年) 10月1日発行 (旬刊)

県民の友

編集所 和歌山市小松原通一丁目
和歌山県企画調査課
編集印刷兼発行人 中村三郎
印刷所 和歌山県印刷所
刊行 1日11日21日発行
定価一部2円50銭

紀州みかんの復興へ
共同出荷体制を確立

かねて農家の皆さん方に御協力いただいている麦類の共同販売運動は、本日現在で農業協同組合が取扱つた麦の数量は検査数量の七四%に上つておりますので、現在の段階では一応成功に近いという事がいえましよう。これも農家の方々がこの運動の趣旨を充分認識せられ、これに真剣につくされたればこそ、このような成績をあげ得たわけであり、農家の平の結晶が農業協同組合に集つたことは心強い次第であるといえましよう。

しかしながら、これをもつて麦の共同販売運動が終つたわけではありません。少しでも多くの麦を共同販売の体制に乗せ有利に販売出来るよう今後共一層の努力がつづけられねばならないわけです。

本県は果樹振興計画を樹て、農家経済の安定を期すると同時に、輸出振興を図ることになりましたが、これの目的を達成するためには、どうしても農民の方々に果実の共同撰果、共同出荷、即ち農業協同組合を通じての共同出荷を行つてもらわなければなりません。

すなわち共同販売なくしては到底果樹の振興は果しがたいでしよう。それ程重要で且大切なものです。だからもしこの線が崩れるようなことがあれば、それこそ大変です。

かつての紀州みかんの名声が地位を挽回することは不可能に近くなるのではないでしようか、かゝる際こそ、この果実の共同販売体制確立の運動が痛切に感ぜさせられるわけで、皆さん方の経済安定のためにも、又輸出振興と汚名返上のためにも是非ともこの農業協同組合を通じての共同出荷の成果を上げたいものです。

それでは農家にとつて果実の共同販売をすることによつてどれだけの利益があるものでしようか。具体的に申し上げてみますと、先づ第一は共同出荷販売奨励金の交付であります。その条件は町村農業協同組合は農家から出荷された果実を県果実農業協同組合会又は県経済農業協同組合会へ販売を委託し、県果実農業協同組合会又は県経済農業協同組合会は県の斡旋施設のあるところはこゝを通じて販売したものについて、その奨励金の交付対照となるわけです。

みかんについては果実連合会のみで経済連合会では歇目です。

県ではこの奨励金の予算を八〇〇万円組んでおりますが、対照出荷量の目標を一六〇〇万貫と踏んでおりますので、一〇貫について五円以内の割で奨励金を出すのでありますが、この金は以上のような共同出荷をした場合町村農業協同組合の活動を促進する便途に供しますので、こうして事業の運営がうまく進めば経営にも有利に展開することになり、ひいては農家個々の利益をもたらすことになります。

このようにすれば事業を助け中間経費を省くことが出来ますので有形無形に利するところが多く直接農家に出荷奨励金として出すよりはるかに大きな効果があることが納得願えると思います。

更に共同作業による能率を図るため共同撰果場の建設を奨励することになつており、六〇〇万円の経費で二〇棟、一、五〇〇坪の新設を計画しています。これに動力撰果機まで設置することにすれば更に能率的になるわけです。

次に販売統一の問題ですが、今までだと農家から出荷される箱の大きさは個々ばらばらで色々と種類が多く取引の都度その内容を一々カンカンしなければ直量がわからないという不便さがあり、このため無駄な時間を費し取引に円滑を欠く点が問題になつており、大口消費の泉浜、東阪神地方の市場などの信用に影響を与えた事は大きかつたのです。そこで今後みかん、なつみかん、かき等の容器の統一を計るため青果物容器規例条例を設定し、将来はその内容の統一まで、その徹底を期することになり、市場において獲得する様努力することになりました。

その様にして規格の統一をして参りますと、今後農家から出荷される果実はもはやどこにも負けない立派な商品として市場に出されるわけですが、そうなれば信用確実な商社に販売しなければならなくなるのは当然であつて、折角の農家の平の結晶を無責任に販売することは絶対に許されません。

そこにおいて大消費地における出荷懇談会、新しい販売先の拡張、荷受業者の信用程度の調査及びポスターによる宣伝等県一本の体系によつて行うことになつておりますが、これとは別に県では現在東京にある販売斡旋所の外に今度新たに大阪、北海道に販売斡旋所を開設することにしており、これにより中間で取られる色々な経費の節減と、取引の公正確実を図ることになりました。

勿論、農家の方に少しでも多くの収入が得られるよう努めております。だからこの斡旋所に必要な経費は一切県でみることになつておりますし、その上販売手数料は一銭も頂かずいわゆる無料サービスをもつて果実の販売のお世話することになつております。

以上の事情を検討していただければ個人でバラバラの売り方がよいか、又自分だけの販売が従来の販売体制で行く方がよいか、自らおわかりだろうと思います。

農家の方々はすでに考えは決まつておられることでしよう。どうか皆様自身のために「共同販売で農業協同組合に共同出荷しよう」ということに願います。

日高県議補選
さらに一名立候補

十月五日執行の県議会議員日高選挙区補欠選挙における県議会議員候補者として、田ノ本氏が九月二十二日届出をした。これで、さきに届出あつた二氏を加えて、候補者は三名となつたわけである。

日高郡補欠選挙における県議会議員候補者氏名（二十二日届出あつたもの）

田ノ本善一（たのもぜんいち） 日・竜神村 59 無

この月も主食は十五日
例によつて端境期は苦しい

端境期の食糧配給は毎年相当苦境に追いこまれるのが常であつて本年も数字上では一応見通しがついているが、県外産地前の入荷状況が問題で、相当心配な状態である。

九月は内地米十二日分、外米三日分、計十五日分の配給を確保できたのであるが、十月の需給事情は九月末の手持の内地米二千八百屯、準内地米百十九屯、これに九月運送命令の産地米が新潟から五百屯、富山から七百十屯あり、さらに十月運送命令の新潟米一千四百十屯を加えると、五千五百三十九屯、この外に外米の手持六百六十四屯を九月運送命令で近く入荷する五百屯計千百六十四屯となつている。

これを一応配給対象として、十月の主食配給計画を、内地米（含準内地米）十二日分、外米三日分計十五日分とした。この十五日分の配給及び労務加配米その他を加え必要な米の量は内地米（含準内地米）約三千八百屯、外米九百屯である。

しかしながら産地米の富山米七百十屯、新潟米五百屯のうち現在（九月二十五日）入荷しているのは富山米の百屯であつて、全量入荷は貨車の都合でどうしても十月十日頃までかゝる見通しであり、この全量が入荷しても内地米の総量は四千百二十九屯だけしか配給に充当できる数量がなく、十月分内地米所要量三千八百屯をスムースに配給するには、操作用として千屯の米を余分に持たねばならないので、内地米四千八百屯位の現物がないと配給が困難である。

そこでどうしても、十月運送命令の新潟米千四百十屯も十月十日頃までに入荷させてもらわねばならず、現地当局に早期出荷をしてもらうよう努力している。

このような状況で、本年の端境期も例にもれず憂鬱にたえないありさまである。

みんなのしあわせのために
共同募金運動はじまる

赤い羽根の共同募金運動が、今年も例年の通り十月一日から一ケ月間全国で実施される。

〝みんなのしあわせのために、みんなそろつて赤い羽根を……〟と呼びかけるこの国民たすけあい運動も、過去五ケ年の継続をかえりみて、一応軌道にのつたかの感があるが、県共同募金会では、私たちの社会には不幸な人が、たくさんいる。

この人達を幸福に導くために、社会福祉事業がある。

私たちは赤い羽根で、社会福祉事業に協力する。

世の中は、もつつるたれつのたなつながりをもつているが、水と直接関連のある伝染病をあげて見ると、腸チフス、パラチフス、セキリ、コレラ、小児マヒ等があり、稀に細菌病として流行性肝炎も考えられる。これらの疾病は水道の完備によつていちじるしく減少するのが常で、水道の発達状況を示す一つの指標となるとさえいわれている。しかし水道でも、設備の途中いたる所で汚染される機会がある。殊に河畔近く土壌等のある場合、又は流域に伝染病の発生を見た場合には、充分に注意する必要がある。

B 地上水

河水、湖水等のように地表にあるものをいう、河川水はその流過域や大陸の奥地など特殊の地理的関係ある場所に限られる。雨水は天然の落りゆう水ともいえるもので、水雑物は一般に少いが、その場所の空気の清浄度と密接な関係を有する。

C 地下水

雨水等が地中にしみこみ、ぬん土や岩石等の水を透しにくい地層の上に水層をなしてたまつたもの

A 井戸の周囲の衛生状況

ものしり教室
きれいな水を飲むためにどのようにすればよいか

一般に良水といわれるものは、健康の障害を起さぬことはもちろん、飲用に際して不快な感を起させないことを要する。私たちが実際に判定する必要を要するものは、主として、井戸水その他局所給水の場合であるから、それについて簡単に判定標準をあげると、

A 井戸の周囲の衛生状況

D 細菌（非病原菌）

水中菌として通常の場合非病原菌でもあまり多すぎれば、水の大なることを示す。1cc中菌

日本共同募金目標額
10,500,000円

共同募金の目標額は一千五十万円で、昨年にくらべて五十万円の増加である。これは新規の受配者（主として身体障害者の団体）がふえたためにやむなく増額したものである。しかし、お年玉つき年賀葉書の寄附金繰入が約二百二十六万円あるので、実際の募金額は約八百二十四万円である。

幸い、この目標額が達成された場合、その一部が募金の経費に充てられるほかは、官公営を除く県下二百五十六の社会福祉事業施設団体に配分せられて、昭和二十八年度の経費として使われる計画である。

予定されている受配者の範囲を業種別にあげると次の通りである

1 養老事業 一施設
2 引揚者、遺族、未亡人、盲人その他の身体障害者等の援護連絡事業 十六団体
3 孤児養護、児童保育などの児童福祉事業 二十三施設
4 生活困窮者の医病保護事業 一施設 二施設 一団体
5 利余者の更生保護事業 一施設
6 生活困窮者の居宅援護等を行う地域福祉事業 二百一団体
7 社会福祉の総合連絡事業 八団体

という共同募金運動の理念が、一層よく県民に理解されて、今年もその目標額がりつぱに達成されることを望んでいる。

本県の今年の募金目標額は一千五十万円で、昨年にくらべて五十万円の増加である。これは新規の受配者（主として身体障害者の団体）がふえたためにやむなく増額したものである。しかし、お年玉つき年賀葉書の寄附金繰入が約二百二十六万円あるので、実際の募金額は約八百二十四万円である。

幸い、この目標額が達成された場合、その一部が募金の経費に充てられるほかは、官公営を除く県下二百五十六の社会福祉事業施設団体に配分せられて、昭和二十八年度の経費として使われる計画である。

予定されている受配者の範囲を業種別にあげると次の通りである

1 養老事業 一施設
2 引揚者、遺族、未亡人、盲人その他の身体障害者等の援護連絡事業 十六団体
3 孤児養護、児童保育などの児童福祉事業 二十三施設
4 生活困窮者の医病保護事業 一施設 二施設 一団体
5 利余者の更生保護事業 一施設
6 生活困窮者の居宅援護等を行う地域福祉事業 二百一団体
7 社会福祉の総合連絡事業 八団体

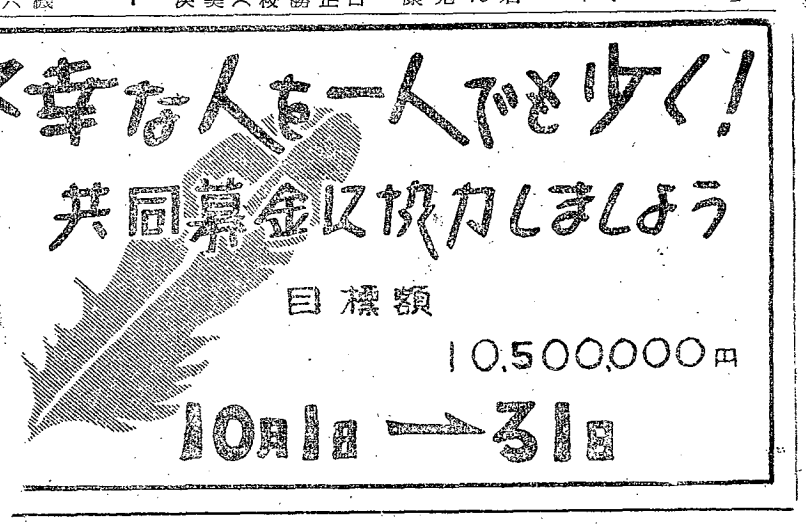
健康優良児代表決る

男子 森尾君
女子 勝野さん

県三百六十二校の男女六学年児童三万名中から県代表を選ぶ健康優良児童審査会（朝日新聞主催、文部、厚生両省後援）は二十四日開かれ、県代表者として、森尾正稔君（日高郡切目川小学校）、勝野由紀子さん（新宮市蓬莱小学校）、準代表として、雑賀正年君（東牟婁郡西向小学校）、岩橋富美子さん（那賀郡田中小学校）を決定した。

撮影機映写機を購入

このほど県では十六ミリ撮影機スペシヤル、コダツク号と、十六ミリエルエホームトーキー映写機を購入して企画広報課にそなえた目と耳から行う広報として、近ごろ一般に関心を持たれ盛んに利用されつゝある映画を、本報活動に取入れることに願であつつた、こつて本県の広報



世界に誇る
本縣の国立公園

国立公園とは我が国の風景を代表するに足る自然の大風景地である、即ち国民的興味を驚き得て、日常体験し難き感激を与うるが如き傑出したる大風景で海外に対しても誇示するに足り、世界の観光客を誘致するものでなくてはならない。

日本の国立公園は昭和九年に指定されてよりこのかた現在までに、既に十七ケ所をかぞえ、殆ど全国に適当配置されたと云つてもよいがそれらは各々特徴ある風景によつて全国的に比類のない景観を誇つているのである。

本県にも昭和九年に、潮岬より勝浦への海岸線、熊野川、十津川の流域及び那智山等の吉野熊野国立公園、昭和二十五年に、加太の友ケ島、和歌浦の瀬戸内海国立公園が指定され、雄大なる風景は、その溢愛なる気候と相俟つて四季を通じて観光客を誘致している吉野熊野国立公園は、奈良、三重、和歌山の三県に誇る広大な区域であるが、他に比を見ない特徴は、全国国立公園中唯一の水成岩系に属する大風景地で、山岳、河川、海岸類等を兼ね具え、又霊地、史蹟も豊富である。

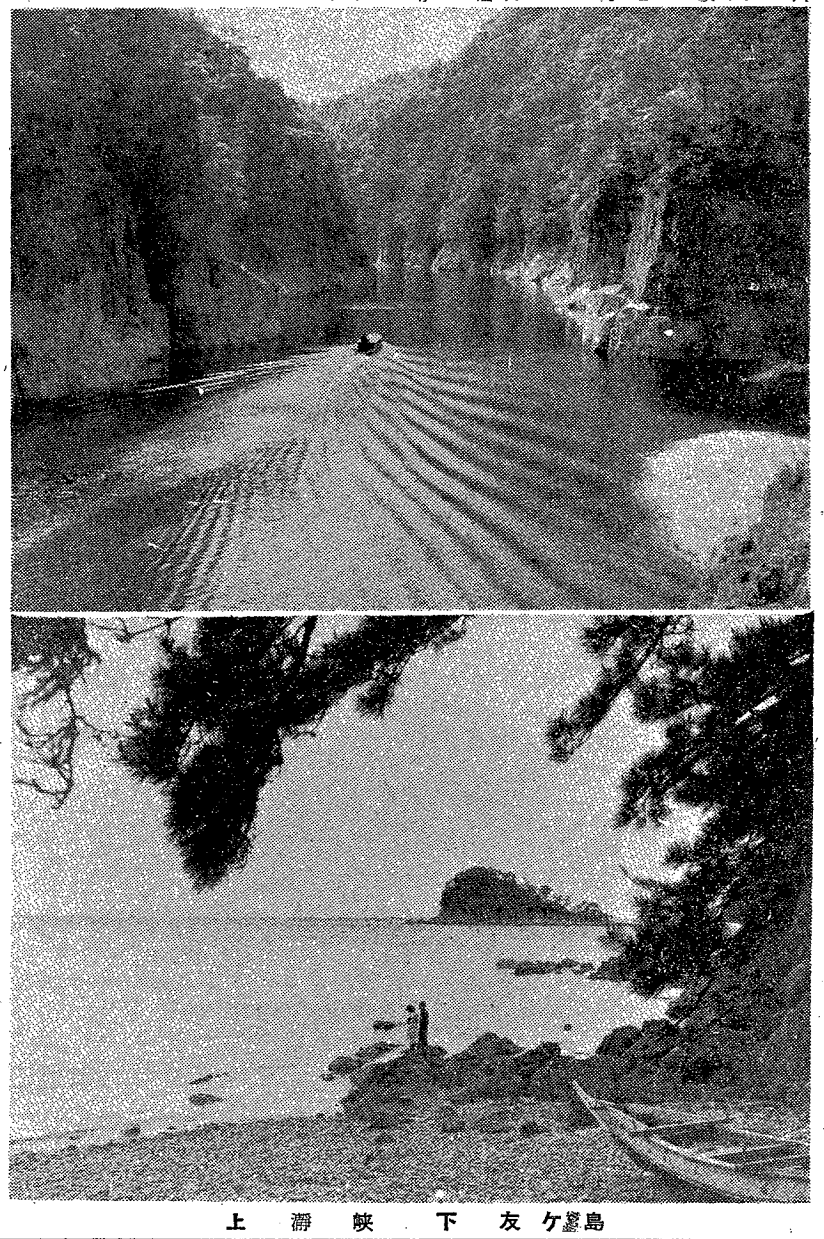
熊野海岸は東北より西南に走り約九一粁の間、岬角、湾、砂汀、断崖等連亘して本邦第一流の景勝を示めて居る一帯の海岸は熊野海岸の特徴を示している、七里御浜、大浜に於ける白砂青松の長汀亦雄観たるを失はない。宇久井、三輪崎附近海岸は小島岬角の美を以て知られ、勝浦太地一円に至つては水成岩の雄偉なる絶壁千変万態の島嶼等以て秀抜なる海景を示し、熊野灘に於ける風景の核心をなすものである。浦神半島の内面は明媚なる玉の浦を横たへ外面一帯は水成岩より成れる奇怪絶倫なる外洋的風景を誇している大島附近一円は玢岩の噴出岩より成る奇勝連綿して大洋に臨み、眞に外洋の雄大なる風景を代表せしむるに足るもので串本橋杭岩亦奇観たるを失わない。

海岸地方の植物としては海浜に於けるクロマツ段丘上のウバメガシ其の他常緑濶葉樹の特有の林相を現出しハマカヅラ、バクチノキ、ハマオモト其の他多くの亜熱帯性植物が成育している。

北山川は水源を大台ケ原及大峯山中に発する溪谷であつて十津川が合流して熊野川となり熊野灘に注ぐ。

本河川は吉野群山と熊野海岸とを連ぬる唯一の連鎖帯であつて、しかも本公園の中核をなし、本公園の成立よりすれば頗る重要なる役割を演ずるものと言うべきである。

北山川及熊野川は主として水成岩地方を穿つ峡谷であるが上流は急湍激流多く随所に神秘なる瀞を現出している。両岸は急斜地をなして殆んど屏風地なく、而も岸壁上所々に瀑布を懸けて風趣を添えて居る熊野川本流は両岸開けて明媚なる風光を特色となすけれども全川を通じて両岸は自然的特徴を失わない。而して其の瀞の一奇観に至つては他に比肩し得るものがない。



瀬戸内海国立公園加太友ケ島は海と島とを主とする海上公園である関係上其の区域は中国と四国、近畿との間に横たわる瀬戸内海の多島海の風景型式を構成する部分であつて国立公園の保護利用上必要なる範囲を包含し、紀淡海峡を隔てゝ淡路を望み、瀬戸内海を扼する重要な位置をしめ松樹を中心とした美しい海の一島嶼である。

友ケ島　下　瀬戸峡　上

地方事務所だより

伊都地方事務所の巻

奥地資源の利用と治山事業
（林務課）

戦時戦後の乱伐濫材は里山に集中され森林資源は漸次奥地に移行したために、昨年末の森林法の改正による洞正伐期令級以下の伐採制限と相俟つて、奥地森林資源を開発する目的で幹線林道として花園村より高野町に通ずる奥地林道（巾四米補助七割）と、富貴村北又谷の民有林開発林道（巾三米県費補助五割）を本年度より開設計画を樹立夫々着工の段階に達している。この林道が開設された暁は民有林で四、一九六町と国有林で八〇〇町歩に存立する蓄積一〇〇万石の不株立林分が林産資源として利用されることになる

一方今次のダイナ、エマ、七一〇と打続く災害により和歌山県一帯は稀有の豪雨に襲われたのであるが、就中伊都郡は洪水の暴威にじゅうりんせられ瞬時にして山地崩壊を惹き起し山津波を各地各所に見たのであります。その被害は郡内で一一七ケ所被害面積四六町で六四二〇万円の被害を見たのであるその復旧には取敢ず緊急分で一五八〇万円が決定なり、夫々着工し工業の進捗を計り季節台風に備えへ遺憾なきを期している更に林道関係については郡内既設林道五〇路線は大小の差こそあれ殆んど全路線が被害を蒙り、この延長二二、六二二米で被害額四、四一〇万円でこれが復旧については各町村單位森林組合において緊急融資を受け町村民挙げて復旧工事に専念しているものである。

造林事業については改正森林法の主旨に則り昭和二十四年度に樹立せられた県造林十ケ年計画に基いて逐次、造林実績の向上を見昭和二十六年度には郡内八七〇町歩余の量と〇に質的にも向上し将来の洪水の防止と森林資源の確保持続に強い光明を与えている。

園芸及び副業の振興から
（経済課）

本郡は気候、風土、伝統経験こそが重なり果樹地帯が形成されている。主食も清貧地が多い関係上農家も副業により所得を増加する必要がある。農業改良普及員においても月々果樹研究の常会をもち、主食生産地帯に対しては病害虫の防除徹底、畜産、養蚕、副業の奨励とその地域に応じてそれぞれ指導「チャンス」の推奨、又経営も多角化されるに従い労力配分の面等実践と遂行しないよう努力している。

一方生活改良普及員においては「友の会」を通じ活発に働きかけ一例として生活改善「モデル」町村の紀見村の如きは他町村は勿論遠く他府県よりの視察、見学の応待に嬉しい悲鳴をあげている位であり各地の浸透ぶりは本格的になつてきている。

京阪神が隣接している関係もあり比較的勤労者も多く、又一方高野口を中心とする織物業に吸収される労力等も勘案して産業振興計画を樹立して農家経済の安定を図るべくその方向に重点をおいている。

明るい心で
（民生課）

法の改正によつて昨年十月拡充強化された民生課も第一回の誕生日を迎えようとして課員夫々一致協力のもと社会福祉事業によなき生き甲斐を感じている。

生活保護面では専任査察員を設置して十名のケースワーカーが理智と誠意と慈愛をもつて八〇〇世帯の保護更生指導に当つている。母子福祉、児童保護面では養護施設二、母子寮二、保育所八を持つて、すくすくと伸び行く子等、明るく生き抜く母のために児童福祉司を中心に更に万全の策を講じつゝある。

類焼した国保病院は、関係町村長の鉄をも溶かす熱意と地方民の与望によつて理想的、近代的病院の復興にはく進しつゝあり、一昔前から全郡的に普及されている国保事業も亦町村長の合理的な運営期待されている。

農業経営の改善は土地改良から
（農地課）

本年はダイナ台風、七月十日の水害、吉野地震等相次いでの災害があつた。これが復旧額は四億円、職員総動員して日夜を分たず設計に現地指導に当つているが、これに加えて本年度から初しまる食糧増産五ケ年計画にともなう土地改良事業費三億円、急傾斜地帯震業振興臨時措置法による各種工事費五億円等計十二億円という膨大なものである。これが実施にあたり町村毎の綿密な計画と地元民各位の積極的な協力により五ケ年後には農業生産の基礎条件を総合的に整備して農業生産力を高めつつ農業経営の安定と農民生活の改善に寄与するところ多大であると期待されている。

漁業の免許料、許可料徴収額が割当てられた

漁業法第七十五条第百二十五条に基く漁業の免許料、許可料の徴収は本年度から開始することゝなり、九月五日に開かれた全国都道府県水産主務官会議において、二十七年度沿岸関係並びに内水面の免許料、許可料の徴収総額のうちから農林大臣の免許する漁業の免許料及び大臣の許可する漁業の許可料分を差引いた残り六億二千五百二十九万円の各都道府県の割当額が決定したが和歌山県は一千四百五十九万円となつている。

九月の天気

天氣

上旬、大陸の平均気圧は、例年より高目で本州北部を通る移動性高気圧が多く、小笠原方面の高気圧は弱い見込です。低気圧または前線は本州南海上に現われ易く、一般に気圧配置は不安定となりましょう。また一個位熱帯性の低気圧が現われ、関東沖を通るかも知れません。天気は本州太平洋側では一般に曇く、その他も日照が少目のようです。また本邦南岸では一時暴風雨が起るか、または秋さめ型のぐずついた天気が現われる傾向があります。

中旬、大陸の高気圧は本年並かやゝ弱く、移動性高気圧は南偏し、本州南部を通り、小笠原方面では示度を高めるでしょう。低気圧は北海道方面を通りやや発達する見込です。天気は例年並に秋晴れの日が期待されます。

気温

上旬、平均では幾らか高目です

中旬　変動がやゝ大きく、やゝ高温からやゝ低温になりそうです

降水量

上旬、並ないし多目でしょう。

中旬、概して少目に予想されます。（九月二十一日和歌山測候所発表）

審査競技のつ選択

Hクラブのあゆみ

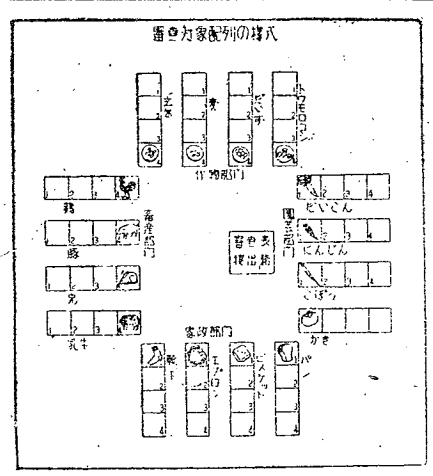
これは許価活動の一部で、審査競技のやり方には色々ありますが、こゝ主催者からは部門作物玄米、根人、柑橘等家畜乳牛、豚、兎、鶏家政作業衣、靴下修理の繕、スケットたくあ

会場には各種目毎に四個体（米やビスケットは若干量を四群、大根や白菜は三本とか三株を一束にして四群）が並べてあり夫々に1234の番号がつけてあります

競技参加者は自分の選んだ四種目の四個体（十六点）を二十分以内に次々と審査し順位を定めて審査カードに記入して提出します。この成績は主催者側の専門家が決めた正しい順序と比較され、その審査理由についての説明も考慮して何％の成績を収めたかということで決定されます。

このような催しは上級集合（地区）の上かと思う種目に（生活改善）の上かと思の高いものでなければなりません。なお競技の当日は各種目毎にその担当の専門家から「正しい順位がなぜそうなるか」の説明を行うのであるが、これが参加者の審査能力を確かなものにする上に効果があると思います。又こうした催しが各地に行われるようになれば各クラブ活動に具体的な問題が得られるようになると思いますから各クラブでは今後大に取り上げた活に関係のある品目に話したのであるが一度に多数の人々がこの競技に参加させようとすれば予めその会場の準備が大切であります。

その会場にも列する一例を掲げたから参考にされたい。



映画紹介

村道（二巻）

おやおや、仔牛をつれた和尚さんが寺から出て来ます。

これはこれからの有畜営農はどうやつてゆけばよいかということを山寺の和尚さんが仔牛をつれて里へ下つて行く道すがらにおこるいろいろの出来ごとをうまくとらえて解説してゆきます。

青い地平（四巻）

労力のみの汗の農業と科学を応用した合理的な農業とを比較対照しつゝ、明るい働きよい農村のつくり方を示しています。